

平成三十年度 くんち瓦版 創刊号 長崎くんちの舞台

発行:平成30年7月2日
長崎市地域支援室(中央地域センター内)
長崎市桜町2番22号 TEL 829-14

～今回ご紹介する
くんちを支える人たち
～

- 1 大黒町
エアロビクスインストラクター
Satoさん
- 2 杵島町
杵島町自治会婦人部
- 3 酒井彫雅堂



杵島町・太鼓山
(コッコデシヨ)

立山・片淵・木場・夫婦川神輿守



諏訪:立山1~5丁目



住吉:片淵3~5丁目



森崎:木場町
片淵1・2丁目
夫婦川町



紺屋町・本踊



本古川町・御座船



大黒町・唐人船



東古川町・川船



小川町・唐子獅子踊



出島町・阿蘭陀船

6月1日の「小屋入り」で、大役の無事達成を祈願した7つの踊町、神輿守町。

いよいよ、平成最後の長崎くんちに向け、本格的に稽古が始動しました。

長崎くんちは、長崎の人々の暮らしに深く関わりのある祭りであり、町ごとに伝統が継承されています。本番に向けて、各自治会を中心に地域が一致団結し、さまざまな準備がなされており、くんちが地域のまちづくりの一翼を担っています。そんな役割をもつ長崎くんち。

この「くんち瓦版」では、くんちを通して地域を支える人々にスポットを

演し物貼り絵
市役所本館1階総合案内裏
まちづくりひろばにて展示
中!! (7/2~7/31)

HPでも「くんち情報」を発信しています。ぜひ、ご覧ください!!

長崎市 中央地域 くんち 検索 ←クリック

長年に渡り数々の傘鉾の製作・調製を手がける

酒井彫雅堂 酒井 修さん



蛇籠の材料である竹は、知り合いの竹割りの職人さんが退かれたため、昨年、酒井さん自身が竹割りに挑戦されたそうです!!「またチャレンジしたい!」と素敵な笑顔で職人魂を覗かせ



酒井彫雅堂は長崎でも数少ない彫刻屋さん。酒井さんの父親が福岡で修業し、戦前長崎市諏訪町で開業。戦後現在の場所に移り、父親の代を引き継ぎました。今年で44年目を迎え、現在はおひとりで、家業を守り続けています。普段は欄間やお店の看板の製作を手がけているそうです。くんちには昭和31年の桶屋町の傘鉾から毎年どこかの踊町の傘鉾の製作・調製に携わっており、新調する場合は、製作期間がなんと2年以上にも及ぶそうです。毎年、自分が手がけた傘鉾の奉納の無事を祈りま



【知っトク情報!!】

Q 「蛇籠」(じゃかご)とは?
A 傘鉾の輪の種類のひとつ。
蛇籠・丸輪・しめ縄の3種類があります!!

【取材時の作業の様子】

杵島町の飾りの松の葉を作る作業が行われていました。染めたイ草が熟練された手さばきで正確に切り揃えられ、針金で束ねた後、松の葉の形に仕上げられています。

製作中の杵島町の松の葉。



Q酒井さんにとって「長崎くんち」とは?

A 「踊町の住民として参加する。長崎っ子として観る。職人として作る。」

誰よりも楽しめるも

伝承したい 長崎の技☆

今年酒井さんが調製する傘鉾

- ・小川町
- ・出島町
- ・杵島町

傘鉾は長崎伝統芸能館に保管し、7年ごとに組み立てるそうです。360度どこから見ても美しい傘鉾に仕上げのため、飾りの取り付けは職人としての腕の見せ所。「前回よりもさらに美しく、その時にできる最高の傘鉾をつくりたい。」

「ヤーハ！」「ヤーハ！」

ダイナミックな船回し

根柢衆の体カづくりをサポートする

エアロビクスインストラクター

S a t o さん



大黒町のくんちに向けた体カづくりは、なんと昨年の6月から！！

今年1月からはS a t o さんによるエアロビクスを取り入れた体カづくりをスタート。普段は作業療法士として長崎医療技術専門学校の教員をされているS a t o さんへインタビュー！！

Q くんちのトレーニングのポイントを教えてください。

A 3日間けがなく最後まで最高の奉納ができるよう、全身持久力や筋パワーはもちろん、重い船を動かすため、特に体幹、下半身に力をつけることに主眼を置いています。難度より強度を重視し、体力状況をみながら段階的に「簡単だけどきつい」プログラムにし



←エアロビクスのトレーニングの様

きつくなってからが勝負！
人一倍、声を出そう！
限界を超えよう！
皆で力を合わせ、心をつなげて鍛錬して、奉納させていただきます。

唐人船



大黒町

Q どのようなきっかけでくんちのトレーニング指導を行うようになったのですか？

A 3年前に新大工町の采振を務めた友人のご縁で依頼があったのがきっかけです。その後、鍛冶屋町、大黒町にエアロビクス、筋トレを中心としたトレーニング指導を行っています。

Q 大黒町の演し物への感想は？

A 力強い船回しに感動します。また、演技の途中で青の胴着を空に放つ部分が素敵だと感じています。一人ひとりのくんちにかける熱い想いが伝わるだけに、トレーニングの時点ですでに感動です！

Q 演者のみなさんへ一言メッセージを。

A 最高の3日間にしましょう。そして、最後は一緒に泣きましょう！

[6月のトレーニング]

平日：19：00～21：00

☆月・水：水辺の森公園

・ジョギング、ダッシュ

☆火・金：西坂小体育館

・筋力トレーニング

・ソフトバレーなどの

レクリエーション

☆木：桜町小体育館

・エアロビクス

※6月までは体づくり。

7月からいよいよ船回

しの稽古に入ります

「ココデショ！」
宙に美しく舞う太鼓山

伝統ある太鼓山を陰で支える

「樺島町自治会婦人部

太鼓山
（ココデショ）



樺島町



樺島町自治会
婦人部長 村岡美恵子さん

「くんちが終わったら婦人部長は倒れるらしいですよ〜。」と冗談交じりでご苦労を笑い飛ばす村岡さん。ご多忙にも関わらず笑顔で取材に応じ

樺島町自治会婦人部のくんちに向けた熱い活動は早くも始動しています！！

時期：4月上旬から本番まで全力疾走します！！

場所：樺島町公民館（毎週水・土曜日の昼・夜）

活動その①：花御礼の品の準備

☆ミニ采づくり

一つ一つが手づくりでその数なんと4千本！！

婦人部のみなさんの太鼓山への温かい想いが込められているミニ采です。

☆鉢巻と染め手拭の準備

1万枚の鉢巻を折る作業、8千枚の染め手拭を袋に入れる作業が地道に繰り返されます。気が遠くなりそうな作業ですが、絵柄が綺麗に出るように一つ一つ丁寧に折られます。

活動その②

☆小屋入り後、町内へお祝いの品（桃饅頭）配り。

☆演者の衣装の管理や子どもたちの小道具の製作。

☆稽古、本番時の水分補給の水当番 など



「天空舞」のデザイン

←人気の「染め手拭・4種2色（紺色と桃色）デザイン2種

「ミニ采」ココデショファンはぜひ手に入れたい一品！！



←ミニ采づくりの様子
ご主人や子どもさんが演者でありながら婦人部の活動に精を出される方もいらっしゃるそうです。

[知っトク情報！！]
樺島町⇒樺島町
今年は「樺」から「栂」（国字）へ変更！！
くんちの時のみ「栂島町」を使用します。